

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.12.28-1.3

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

2:1 しかし、イスラエルの中には、にせ預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも、にせ教師が現われるようになります。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込み、自分たちを買取ってくださった主を否定するようなことをさえて、自分たちの身にすみやかな滅びを招いています。

2:2 そして、多くの者が彼らの好色にならい、そのために真理の道がそしりを受けるのです。

2:3 また彼らは、貪欲なので、作り事のことばをもってあなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは、昔から怠りなく行なわれており、彼らが滅ぼされないままではあることはありません。

2:4 神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄に引き渡し、さばきの時まで暗やみの穴の中に閉じ込めてしまわれました。

2:5 また、昔の世界を赦さず、義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護し、不敬虔な世界に洪水を起こされました。

2:6 また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。

2:7 また、無節操な者たちの好色なふるまいによって悩まされていた義人ロトを救い出されました。

2:8 というのは、この義人は、彼らの間に住んでいましたが、不法な行ないを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたからです。

2:9 これらのことでわかるように、主は、敬虔な者たちを誘惑から救い出し、不義な者どもを、さばきの日まで、懲罰のもとに置くことを心得ておられるのです。

2:10 汚れた情欲を燃やし、肉に従って歩み、権威を侮る者たちに対しては、特にそうなのです。彼らは、大胆不敵な、尊大な者たちで、栄誉ある人たちをそしって、恐れるところがありません。

2:11 それに比べると、御使いたちは、勢いにも力にもまさっているにもかかわらず、主の御前に彼らをそしって訴えることはありません。

聖書を私的に解釈すると、その延長線には異端が現れます。自分の好きなように聖書を解釈するならば、さばきを否定して墮落した生活に陥ってゆくのです。その教えの内容は、人間の気を引くようなものです。聖書を正しく学び、異端的なものが入らないように、知的にも、また思いの面でも、そして生活の面でも主に従いましょう。

異端となる人々の悪い状態が、ソドムやゴモラになぞらえて表現されています。異端とは間違っているだけでなく、「尊大な」動機から始まるものです。そのような思いに対して注意を払いましょう。人に対してもそうですが、自分自身の中にそのような動機がないか、省みてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2:12 ところがこの者どもは、捕えられ殺されるために自然に生まれついた、理性のない動物と同じで、自分が知りもしないことをそしめるのです。それで動物が滅ぼされるように、彼らも滅ぼされてしまうのです。

2:13 彼らは不義の報いとして損害を受けますのです。彼らは昼のうちから飲み騒ぐことを楽しみと考えています。彼らは、しみや傷のようなもので、あなたがたといっしょに宴席に連なるときに自分たちのだましごとを楽しんでいるのです。

2:14 その目は淫行に満ちており、罪に関しては飽くことを知らず、心の定まらない者たちを誘惑し、その心は欲に目がありません。彼らはのろいの子です。

2:15 彼らは正しい道を捨ててさまよっています。不義の報酬を愛したベオルの子バラムの道に従ったのです。

2:16 しかし、バラムは自分の罪をとがめられました。ものを言うことのないろばが、人間の声でものを言い、この預言者の気違いざたをばげんだのです。

2:17 この人たちは、水のない泉、突風に吹き払われる霧です。彼らに用意されているものは、まっ暗なやみです。

2:18 彼らは、むなしい大言壮語を吐いており、誤った生き方をしている人々を肉欲と好色によって誘惑し、

2:19 その人たちに自由を約束しながら、自分自身が滅びの奴隷なのです。人はだれかに征服されれば、その征服者の奴隷となったのです。

2:20 主であり救い主であるイエス・キリストを知ることによって世の汚れからのがれ、その後再びそれに巻き込まれて征服されるなら、そのような人たちの終わりの状態は、初めの状態よりももっと悪いものとなります。

2:21 義の道を知っていながら、自分に伝えられたその聖なる命令にそむくよりは、それを知らなかったほうが、彼らにとってよかったです。

2:22 彼らに起こったことは、「犬は自分の吐いた物に戻る。」とか、「豚は身を洗って、またどろの中に入っていく。」とかいう、ことわざどおりです。

人は欲望や願望に惑わされると、主の教えが心から消えてしまうことがあります。バラムは預言者でしたが、それで間違った方に進んでしまったのです。

1度救われてから、福音に背くなら、未信者時代よりも悪くなる場合があります。福音に背くなどということがなくても、福音を大切に生きていくかどうかは問われます。互いに、常に福音の恵に生きましょう。そして互いに、福音のみことば信仰に立ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3:1 愛する人たち。いま私がこの第二の手紙をあなたがたに書き送るのは、これらの手紙により、記憶を呼びさまさせて、あなたがたの純真な心を奮い立たせるためなのです。

3:2 それは、聖なる預言者たちによって前もって語られたみことばと、あなたがたの使徒たちが語った、主であり救い主である方の命令とを思い起こさせるためなのです。

3:3 まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、

3:4 次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。先祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。」

3:5 こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、水によって成ったのであって、

3:6 当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。

3:7 しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。

3:8 しかし、愛する人たち。あなたがたは、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

3:9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるわけではありません。かえって、あなたがたに

対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

主のみことばよりも、異端や欲望に従う者は、主のさばきを見過ごしているのです。人間は、自分たちの経験でしか物事を測れませんから、主の再臨はないかのように言います。しかし再臨の時がいつであるかという問題は、主の權威によるご計画なのです。

異端の主張で特徴的なのが、この再臨問題です。不信のことばに惑わされずに、全能者への信仰を堅く保ち、反対者には愛を持って接しましょう。私たち自身は、主の再臨を希望として、いつ来られても良いように、主とともに日々歩んでいきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3:10 しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

3:11 このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとなれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょうか。

3:12 そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

3:13 しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

3:14 そういうわけで、愛する人たち。このようなことを待ち望んでいるあなたがたですから、しみも傷もない者として、平安をもって御前に出られるように、励みなさい。

3:15 また、私たちの主の忍耐は救いであると考へなさい。それは、私たちの愛する兄弟パウロも、その与えられた知恵に従って、あなたがたに書き送ったとおりです。

3:16 その中で、ほかのすべての手紙でもそうなのですが、このことについて語っています。その手紙の中には理解しにくいところもあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所のはあいもそうするのですが、それらの手紙を曲解し、自分自身に滅びを招いています。

3:17 愛する人たち。そういうわけですから、このことをあらかじめ知っておいて、よく気

をつけ、無節操な者たちの迷いに誘い込まれて自分自身の堅実さを失うことにならないようにしなさい。

3:18 私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。このキリストに、栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。アーメン。

主の再臨が今日まで遅れているのは忍耐によるものです。ですから今のときは、私たちの家族など愛する人々に、福音が届くように伝道を急がなければなりません。まだ自分自身の信仰について話していないなら、早くそれができるように、チャンスが与えられるように祈りましょう。祈るだけでなく、実際に伝えましょう。

伝えるものことばだけでは相手の心に響かないことが多いものです。福音が伝わるような敬虔な生き方が必要です。大きな目で見るときに、そのような個人の生き方が、主の再臨を早めることになるのです。主の大いなるご計画に参与していることの光栄を覚えつつ、福音を見せる生き方をしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1日 金曜

I ヨハネ



1:1 初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見えたもの、じっと見、また手でさわったもの、すなわち、いのちのことばについて、

1:2 …このいのちが現われ、私たちはそれを見たので、そのあかしをし、あなたがたにこの永遠のいのちを伝えます。すなわち、御父とともにあって、私たちに現わされた永遠のいのちです。…

1:3 私たちの見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです。

1:4 私たちがこれらのことを書き送るのは、私たちの喜びが全きものとなるためです。

1:5 神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。

1:6 もし私たちが、神と交わりがあると言っているながら、しかもやみの中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであって、真理を行なってはいません。

1:7 しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

1:8 もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちがありません。

1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を

赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

1:10 もし、罪を犯してはいないと言うなら、私たちは神を偽り者とするのです。神のことばは私たちのうちにありません。

イエス様は、人間が聞いたり見たりさわったりできるように、地上に来られました。聖書にイエス様のことが書かれているのは、知識だけのためではなく、私たちが神様と交わり、またクリスチャン同士が交わりをするためです。それによって、困難な人生も喜びが完成されるのです。主と交わり、その愛で人と良き交わりをしましょう。

神様と交わるには、罪がじゃまをします。だれも自分は罪がありませんと言える人はいません。罪はなくなりますが、罪を神様に告白して、赦していただき、きよめていただくことが必要です。これは神様との交わりの基本です。またクリスチャンの成長の条件であり、信仰の人生の力です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 2日 土曜

I ヨハネ

2:1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の御前で弁護してくださる方があります。それは、義なるイエス・キリストです。

2:2 この方こそ、私たちの罪のための、…私たちの罪だけでなく全世界のための、…なだめの供え物なのです。

2:3 もし、私たちが神の命令を守るなら、それによって、私たちは神を知っていることがわかります。

2:4 神を知っていると言いながら、その命令を守らない者は、偽り者であり、真理はその人のうちにありません。

2:5 しかし、みことばを守っている者なら、その人のうちには、確かに神の愛が全うされているのです。それによって、私たちが神のうちにいることがわかります。

2:6 神のうちにとどまっていると言う者は、自分でもキリストが歩まれたように歩まなければなりません。

2:7 愛する者たち。私はあなたがたに新しい命令を書いているではありません。むしろ、これはあなたがたが初めから持っていた古い命令です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いている、みことばのことです。

2:8 しかし、私は新しい命令としてあなたがたに書き送ります。これはキリストにおいて真理であり、あなたがたにとっても真理です。なぜなら、やみが消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。

2:9 光の中にいると言いながら、兄弟を憎ん



でいる者は、今もなお、やみの中にいるのです。

2:10 兄弟を愛する者は、光の中にとどまり、つまずくことはありません。

2:11 兄弟を憎む者は、やみの中におり、やみの中を歩んでいるのであって、自分がどこへ行くのか知らないのです。やみが彼の目を見えなくしたからです。

愛とは、知識やことば、または感情だけのものではありません。行いが伴うものです。神様を愛するのも同じです。愛のあるものとそうでない者の違いは、喜んでしているかどうかです。信仰の行いができない人は、愛が足りないのです。それは自分の力で愛するではありませんから、聖霊によって、神の愛をまずいただきましょう。いや、実はもうたくさんいただいているのですから、それに気づかせていただきましょう。

愛というのは、旧約時代にはあまり強調されないことばに感じていたのでしょうか。しかし、たとえばヘセドというヘブル語で表わされることばは、新約のアガペーとは違います。アガペーとは、無条件の愛であり、罪ある者、神と神とも思わないで、神な顔に泥を塗って生きてきたような者さえも、命の犠牲を払って愛してくださるような愛です。すなわち十字架の愛です。これが人生を明るく照らす光りなのです。この光りの中を歩みましょう。

神様を信じて従っているのだから、自分は信仰深いと思っている人もあります。祈っているから、ささげているから、奉仕を良くしているから…などです。もちろんそれらは大切なことで、健全なクリスチャンは皆していることです。そして、そこには「人を愛して交わっているか」ということも、考えられなければいけません。当然、兄弟姉妹の中に嫌いな人がいるようなら、改める必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2:12 子どもたちよ。私があなたがたに書き送るのは、主の御名によって、あなたがたの罪が赦されたからです。

2:13 父たちよ。私があなたがたに書き送るのは、あなたがたが、初めからおられる方を、知ったからです。若い者たちよ。私があなたがたに書き送るのは、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。

2:14 小さい者たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが御父を知ったからです。父たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが、初めからおられる方を、知ったからです。若い者たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが強い者であり、神のみことばが、あなたがたのうちにとどまり、そして、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。

2:18 小さい者たちよ。今は終わりの時です。あなたがたが反キリストの来ることを聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現われています。それによって、今が終わりの時であることがわかります。

2:19 彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし私たちの仲間であったのなら、私たちと一緒しよにとどまっていたことでしょう。しかし、そうなったのは、彼らがみな私たちの仲間でなかったことが明らかにされるためなのです。

2:20 あなたがたには聖なる方からの注ぎの油があるので、だれでも知識を持っています。

2:21 このように書いて来たのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、真理を知

ているからであり、また、偽りはすべて真理から出てはいないからです。

2:22 偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否認する者、それが反キリストです。

2:23 だれでも御子を否認する者は、御父を持たず、御子を告白する者は、御父をも持っているのです。

2:24 あなたがたは、初めから聞いたことを、自分たちのうちにとどまらせなさい。もし初めから聞いたことがとどまっているなら、あなたがたも御子および御父のうちにとどまるのです。

2:25 それがキリストご自身の私たちにお与えになった約束であって、永遠のいのちです。

2:26 私は、あなたがたを惑わそうとする人々たちについて以上のことを書いて来ました。

2:27 あなたがたのばあいは、キリストから受けた注ぎの油があなたがたのうちにとどまっています。それで、だれからも教えを受ける必要がありません。彼の油がすべてのことについてあなたがたを教えるように、・・・その教えは真理であって偽りではありません。・・・また、その油があなたがたに教えたとおりに、あなたがたはキリストのうちにとどまるのです。

子ども、父、若い者とは信仰の成熟度を表わしています。聖書は初めて読む人から、洗礼を受けて何年もたった人まで、全ての人が読んで、恵みと教えを受けるように書かれています。

世とは、神の国に対して地上の国を表わしています。私たちの国籍は天にあります。世の人々を

愛すべきですが、滅び行く「この世」そのものに固執するべきではないということです。

これまで敵対する教えやが多数現れましたが、彼らはクリスチャンのように振舞っていました。しかし根本的にキリストに従っていないので、結局は異端的になってしまいました。教会に留まることの必要性がここにもあります。教会に留まることによって反キリストの霊にチャンスを与えないようにしましょう。

世界には永遠のいのちを持っている人と、そうでない人がいます。永遠のいのちは、イエスさまの身代わりの十字架以外にないので、このようにイエスがキリスト（救い主）であることを否認するなら、それは反キリストの霊なのです。

御子イエスは父なる神から遣わされたのですから、この御子を否認するなら御父を否認する事になります。”どんな方法でも神を知ることにはできる。偶像や自然を拝んでもいい”と言う人がありますが、それは違います。神から遣わされた御子を受け入れ、心に持っているかどうか、これが神を知っているかどうかです。イエス様ともっと親しくなっていきましょう。

永遠の命とは永遠に神にとどまることです。「それが、・・・永遠のいのち」なのです。神さまにとどまりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？